

# 治験ニュースレター

第37号 島根大学医学部附属病院 臨床研究センター治験管理部門発行 (2015.10)

## ～しまね治験ネット～ スタートしました

本年9月から『しまね治験ネット』がスタートしました。

これは、出雲市内にある当院と島根県立中央病院が連携して治験を実施するシステムです。

この新しいシステムにより、治験手続きの効率化、エントリーの迅速化が図られ、地域でより多くの治験が円滑に実施できることを目指しています。

具体的には、当院と中央病院が同一の治験を受諾する場合に、受け入れ窓口（ネット事務局は当院治験事務局です）を一元化することにより、これまでそれぞれが独自に行っていたヒアリング、IRB（臨床研究審査部会）による審査、その他契約までのさまざまな事務手続きを統一し、合同で実施することができるようになりました。

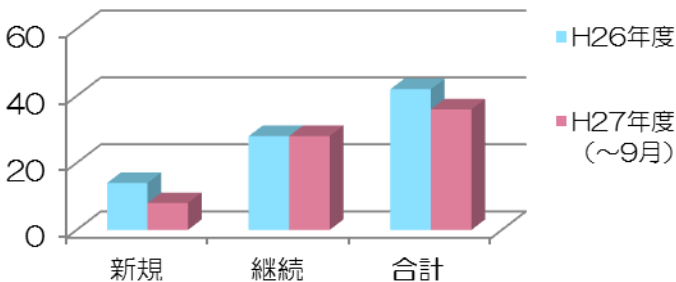
また、Webサイトによる情報提供、症例登録・進捗状況管理が相互に可能となります。

島根大学病院と県立中央病院は、直線距離で3kmとアクセスにも恵まれていますので、治療を受けられる患者さまにとっても、地域での治験が、安心な治療方法の一つとしてさらに浸透していくことを願っています。

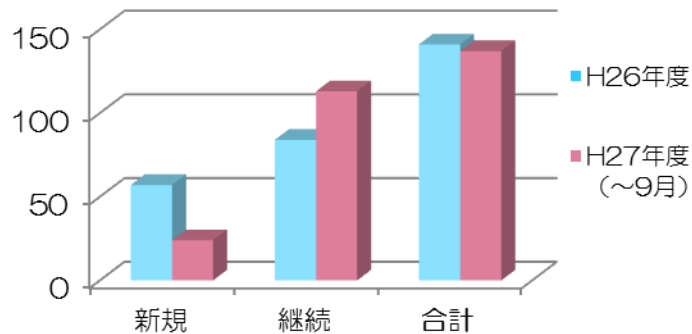
詳しくは、当院臨床研究センター治験管理部門へお気軽にお問い合わせください。

## H26～27年度 治験実施状況のご報告

### 治験等契約件数



### 治験等症例数



26年度の治験等（医療機器を含む）における実施状況がまとめられました。

契約金額については、25年度から治験経費の支払い方法がそれまでの「契約金額50%以上前納制」から「出来高払い制」に移行されたため、被験者さまのエントリーが進むことがより大きく収益を伸ばすことにつながるようになりました。前年に比べて、新規契約件数はやや減ったものの、症例数が増加した結果、前年を超える契約額の増加になりました。

また、今年度の見込みについては、9月末現在において、治験契約件数・症例数は26年度とほぼ同じペースで増えてきており、治験ネット導入の効果も含めて、これまで以上の伸びが期待されます。

各診療科において新規治験を積極的に受け入れていただいております。また各診療科相互でエントリーにご協力いただき、本当にありがとうございました。今後ともひきつづきよろしく願いいたします。

## 進行中・募集中の治験

- ・関節リウマチ
- ・乾癬
- ・がん性疼痛
- ・慢性腎不全
- ・前立腺がん
- ・レビー小体型認知症
- ・びまん性大細胞型B細胞リンパ腫
- ・COPD（慢性閉塞性肺疾患）
- ・糖尿病性腎症
- ・ヒト成長ホルモン分泌不全症
- ・肝細胞がん
- ・ピュルガー病
- ・急性虚血性脳卒中、一過性脳虚血発作
- ・子宮頸がん
- ・潰瘍性大腸炎
- ・血管新生緑内障
- ・逆流性食道炎
- ・喘息
- ・慢性腰痛症

「患者さんお知らせシステム」「創薬ボランティア掲示板」やホームページでご紹介、募集しています。お問い合わせをお待ちしています。